

(仮称) 和田公園整備事業 概要

1. 事業の背景・目的

公園が整備されることにより、健康づくり、スポーツ、散策、ウォーキング等を通じ、町民生活の充実や住環境の向上につながり、また、公民館・小学校・保育所とのつながりを深め、地区の拠点となり公園を舞台としたさまざまな活動の場として多様な人々が集い関わり合う地区全体の交流拠点として地域振興に寄与する。

2. これまでの経緯と計画

- 令和 元年度～ 基本構想・計画策定（福井大学との共同研究）
- 令和 6年度 基本設計（公園・建築）
- 令和 7年度 実施設計
- 令和 8年度～ 工事着手
- 令和 10年度～ 供用開始予定



3. 整備コンセプト

本公園は、以下の3つを整備の柱とする。

(1) 周辺施設と調和した「まちの庭」

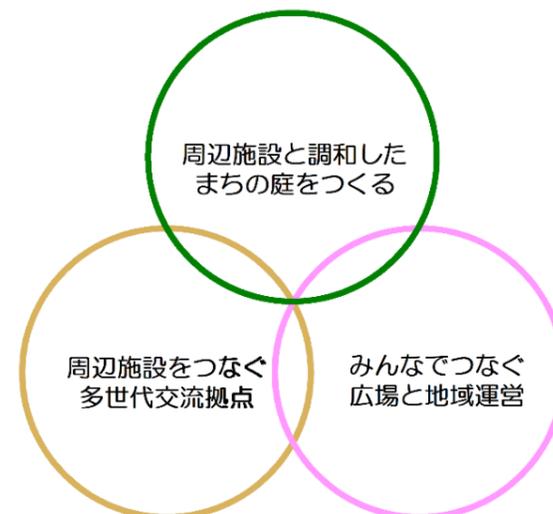
和田のまちなみや既存施設との景観的・機能的調和を図り、日常的に立ち寄れる身近な自然空間を創出する。

(2) 周辺施設をつなぐ多世代交流拠点

公民館や小学校と有機的につながり、子どもから高齢者までが利用できる多世代交流拠点とする。

(3) みんなでつなぐ広場と地域運営

地区内外の多様な主体が関わることのできる仕組みを導入し、地域とともに育てる公園を目指す。



4. 主な整備内容（概要）

(1) 広場機能

- 地域イベントや保育園の運動会などに活用できる芝生広場を整備するとともに、自然とふれあいながら遊び・健康づくりができる空間を創出する。
- ・ 芝生広場（100mトラックが設置可能）
- ・ ステージ広場（イベント開催時にミニコンサートなどができる広場）
- ・ もりのあそび場（高木植栽を活かした自然共生型の遊び空間）

(2) 運動・健康機能

- ウォーキングや軽スポーツなど、世代を超えて健康づくりができる環境を整備する。
- ・ 健康遊具（体力向上や健康増進）
- ・ もりの散策路（木陰の中を散策）
- ・ 芝生広場外周の散策路（1周約160mのウォーキングコース）
- ・ 多目的広場（バスケットゴール、壁あてができるスポーツウォール）

(3) 遊び場機能

- 多様な子どもが安全に遊び、世代を超えて交流できる環境を整備する。
- ・ シンボル遊具（全高6.0mの「ガラクタ森のヤグラ」をコンセプトとした三層構造の複合遊具）
- ・ アスレチック遊具（もりのあそび場に点在する木製遊具）
- ・ 築山すべり台（芝生広場に整備する築山を活用した大型すべり台）
- ・ インクルーシブ遊具（付加施設に併設した乳幼児用あそび場）
- ・ 水遊び施設（水道直結型の簡易噴水：導入の可否については現在検討中）

(4) 利便施設

- 高齢者や子育て世帯を含む幅広い利用者が安心して利用できる環境を整備する。
- ・ 常設駐車場（東21台・南26台）
- ・ 臨時駐車場（イベント時活用20台程度）
- ・ 駐輪場（各エントランスに設置、付加施設前は屋根付き）
- ・ トイレ（男子・女子トイレ、多目的トイレ、倉庫）

(5) 防災機能

- 平時利用と災害時活用を両立させ、地域の防災拠点機能を確保する。
- ・ 芝生広場（緊急避難スペース）
- ・ 屋根付き回廊（夏季の日除け・雨天時の雨よけ・避難時の一時滞留空間）
- ・ かまどベンチ（平時はベンチとして利用し、災害時は炊き出しに活用）

5. (仮称) 和田公園計画平面図(案)と整備イメージパース



公園整備イメージ

◆全体鳥瞰図



公園整備イメージ

◆南側（駅前通り側）エントランス



◆東側（和田小学校側）エントランス



◆北側エントランス



◆付加施設前の園路とキャノピー



公園整備イメージ

◆東側駐車場



◆公園トイレ



◆南側駐車場（和田公民館へのアクセス）



◆回廊（南側エントランス）



公園整備イメージ

◆回廊からやまの遊び場～もりの遊び場への眺望



◆東側駐車場とステージ広場の連絡路



◆多目的広場（バスケットコート、壁打ちウォール）



◆多目的広場（バスケットコート）



公園整備イメージ

◆インクルーシブ遊具広場（人工芝）



◆インクルーシブ遊具広場（人工芝）



◆付加施設内カフェスペースからの眺望



◆付加施設東側の多目的スペース



公園整備イメージ

◆ステージ広場



◆和田公民館への回廊スロープ



◆もりの遊び場へつながる外周園路（真砂土舗装）



◆もりの遊び場に点在するアスレチック遊具



公園整備イメージ

◆もりの遊び場に点在するアスレチック遊具と健康遊具



◆もりの遊び場からの付加施設への眺望



◆回廊内からの芝生広場への眺望



◆芝生広場からの付加施設・複合遊具への眺望



公園整備イメージ

◆やまの遊び場の複合遊具全景



◆やまの遊び場の複合遊具全景



◆南側エントランス駐輪場



◆北側エントランス駐輪場



公園整備イメージ

◆芝生広場内の築山とすべり台



◆築山とすべり台



◆和田小学校前側エントランス



◆公園トイレと休憩スペース



6. 付加施設の概要

(1) 施設の位置づけ

本施設は、公園の屋外空間と連動し、天候に左右されず活動できる拠点を形成することで、日常的なにぎわいの創出を図るとともに、子どもの健全育成および多世代交流を推進する様々な活動を企画運営する児童館機能や体験学習機能を持つ中核施設としての役割を担う。

(2) 主な機能

①児童館機能

- ・子供の成長に応じて「遊び」を通じた健全育成
- ・子どもと保護者が地域で安心して暮らせるように、親子の交流拠点や居場所
- ・不安や生活上の困難などに対応して必要な援助に結びつける福祉的機能

②体験学習機能

- ・施設内及び公園内において様々な体験学習を通じて、子供の知力・体力・人間性の向上を図る。
- ・対象：小・中・高校生

(3) 施設機能と活動イメージ

1) 施設内

①遊びの場

- ・大階段、ロフト、子供遊び場（ネット遊具、立体迷路、ボルダリング、マット遊具など）

②体験学習の場

- ・ホール（各種ワークショップ、集会、講義、体験イベント、英会話体験ほか）、
- ・カフェ・ブックコーナー（読書・絵本読み聞かせ、宿題サポート、食育体験イベントほか）
- ・幼児コーナー（絵本読み聞かせほか）
- ・ギャラリー（創作、展示、作品発表、休憩サロン、学習、イベントほか）

2) 公園内

- ①森の遊び場（自然系体験、ネイチャーゲームなど）
- ②多目的広場（運動系体験）
- ③インクルーシブ広場（幼児向き遊び）
- ④芝生広場（大型イベント、ドローン操縦体験、環境計測WSなど）

(4) 運営：指定管理者（公募）

指定管理者は、①付加施設・公園の維持管理、（カフェの運営）および、②体験学習の企画・ファシリテーター・指導を行う。

また、③高浜町内外の市民活動（例えば絵本の読み聞かせボランティアなど）との連携を促進し、公園内・施設内での活動を誘導する。



<付加施設内整備イメージ（基本設計時）>



<付加施設 配置図 (案)>

